令和8年度

土木施設災害復旧事業

安芸津地区災害復旧工事(8-5)

仕様書

施　工　場　所　　東広島市安芸津町三津

東広島市

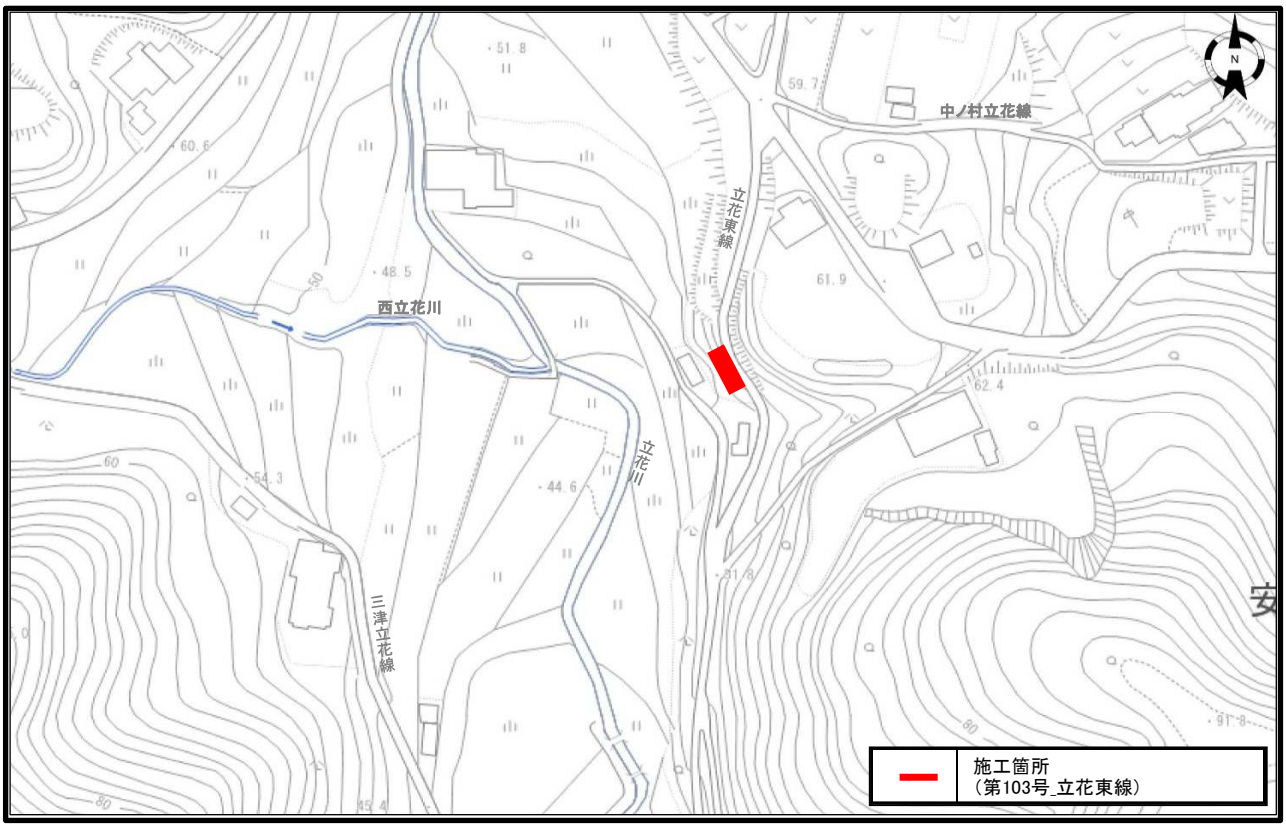
令和8年度　土木施設災害復旧事業
安芸津地区災害復旧工事(8-5)

位　置　図

広 域 図



詳 細 図



特　記　仕　様　書

（安芸津地区災害復旧工事（8-5））

第1章　総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
8. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
9. 法定外の労災保険の付保
10. 週休２日適用工事等　週休２日
11. 建設副産物の取り扱いについて
12. 猛暑日等を考慮した工期延長について

第2章　工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等

第3章　施工条件

1. 安全対策
   (1) 交通安全施設
   (2) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
   (3) 架空線の防護管に要する費用について
2. 盛土・埋戻土
   (1) 流用土(工事内流用)
3. 建設副産物
   (1) 建設発生土（建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出）
   (2) アスファルト殻(搬出)

第4章　その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 施工計画書の記載事項の簡素化
5. すりつけ工

特　記　仕　様　書

第1章　総則

1.　適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和８年８月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

(1)　「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。(ただし、第1編第1章第1節1-1-1-27第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。)

(2)　「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。

(3)　「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。

(4)　「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。

(5)　「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。

(6)　「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。

(7)　「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。

(8)　「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。

(9)　「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。

(10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。

(11)「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。

(12)「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見　出　し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2.　前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあっては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

・建設工事請負代金前金払実施要領
・建設工事請負代金中間前金払実施要領
・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3.　現場代理人の兼務

１　現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

２　発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。

３　発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。

⑴ 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
⑵ 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第６号)第１条第１項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
⑶ 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
⑷ 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
⑸ 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
⑹ その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき

４　重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあっては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあっては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4.　現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和８年８月）広島版」第1編1-1-1-24第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5.　履行報告

本工事は、小規模工事等であるため所定の様式での提出を省略し、「土木工事共通仕様書（令和８年８月）広島版」第1編1-1-1-24第2項第3号に記載の資料を監督職員に提出することにより、履行報告とする。なお、工期延長等が必要となった場合は、報告方法について監督職員と協議するものとする。

6.　官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7.　工事中情報共有システム（受注者希望型）

（１）本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。
（２）工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
（３）本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
　　広島県工事中情報共有システム（一般社団法人　広島県土木協会）
　　http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html
（４）工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。

（５）利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
（６）運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。
この場合においては、次のとおりとする。
１）「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規程（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規程（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
２）「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
３）「4.検査」は適用しない。
４）検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
５）受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8.　主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

9.　法定外の労災保険の付保

１　本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
２　受注者は、建設工事請負契約約款第４７条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
３　法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

10.　週休２日適用工事等　週休２日

本工事は、週休２日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休２日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休２日適用工事等の実施について」に掲載している。

11.　建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

１　再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（５の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

２　計画の掲示及び公表

受注者は、１の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3　実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から５年間保存しなければならない。

4　工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5　建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m3以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第３条第７項又は第４条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第１項、第16条第１項、第30条第１項又は第35条第１項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第１項、第27条第１項、第28条第１項又は第40条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6　運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7　確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8　確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後５年間保存するものとする。

9　建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10　建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11　受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12　受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後５年間保存するものとする。

13　建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する９（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後５年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合

(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合

(3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード

(4) ９の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

12.　猛暑日等を考慮した工期延長について

１　本工事は、工期に「猛暑日等による作業不能日」として、休日(土日、祝日、年末年始休暇及び夏期休暇)、降雨降雪日及び猛暑日日数を18日見込んでいる。

「猛暑日等による作業不能日」＝施工に必要な実日数×雨休率

雨休率(休日、降雨降雪日及び猛暑日日数による作業不能日を見込むための係数)：　0.78

雨休率に見込んでいる作業不能日は、次のとおりである。(過去５年間の気象庁及び環境省のデータより年間の平均発生日数を算出)

(1)　１日の降雨・降雪量が10㎜/日以上の日：　31日/年

(2)　８時から１７時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数：　5日/年

２　・著しい悪天候や気象状況より「猛暑日等による作業不能日」が当初見込んでいる日数と著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は監督職員へ工期の延長変更を協議することができる。

・受注者は、協議の際に気象庁及び環境省の計測データ等を監督職員へ提出すること。計測データは、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所及び環境省が公表している観測地点を用いることを標準とする。

なお、提出する必要のある様式「猛暑日等による作業不能日算出表」は「広島県の調達情報HP＞公共工事等の情報_様式集＞建設工事関係_その他契約関係様式」に掲載している。

・費用は、工期延長日数に応じて「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算」(土木工事標準積算基準書(共通編)第Ⅰ編総則 第９章)に基づき増加費用を積算し、変更契約において計上する。

第2章　工事材料

1.　見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区　分	材　料　名	摘　要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	ＪＩＳ製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く
	車線分離標	

2.　品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区　分	材　料　名	摘　要
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	ＪＩＳ製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く
	車線分離標	

第3章　施工条件

1.　安全対策

(1) 交通安全施設

内容　　工事箇所前後に予告看板を設置すること。

期間　　通行止め規制する２週間以上前から規制時まで

(2) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員　・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(3) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

2.　盛土・埋戻土

(1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、　7m3(地山土量)　については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

3.　建設副産物

(1) 建設発生土（建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出）

当該工事により発生する建設発生土は、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

【礫質土】

(名称)　　リフレ安芸津事業所

(所在地)　　東広島市安芸津町木谷243-1

(運搬距離)　　2.5ｋｍ

【粘性土】

(名称)　　有限会社エス・エス大南山残土処理場

(所在地)　　竹原市下野町字大南山1372-1

(運搬距離)　　8.7ｋｍ

(2) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は　3.2ｋｍ　を見込んでいる。

第4章　その他

1.　工事関係書類

⑴ 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。

⑵ 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2.　工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準（令和８年８月）」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかと、紙媒体のダイジェスト版（着手前及び完成、主たる工種の施工状況）とする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3.　疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4.　施工計画書の記載事項の簡素化

(1) 本工事は、「施工計画書の記載事項の簡素化要領（平成30年12月1日制定）」により、施工計画書の記載内容を省略することが出来る。

(2) 施工計画書から記載を省略した事項については、あくまでも記載のみを省略したものであり、当該事項については各種法令等に則り受注者の責において適切に実施する必要がある。

5.　すりつけ工

すりつけ工は現地との整合を確認し、施工方法及び数量を事前に監督職員と協議すること。

特記仕様書（中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更について）

１　本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下、「調達検討資材」という）の調達に必要となる経費（以下、「別途調達経費」という）について、設計変更により計上できる工事である。

２　調達検討資材

ナフサを由来とする主要な建設資材の一覧

資材カテゴリ	主成分・性質
ジオテキスタイル	ＰＰ、ＰＥＴ
防草シート	ＰＰ、ＰＥＴ
排水材・フィルター	ＰＰ、ＰＥＴ
パイプ・配線管	塩ビ、ＰＥ、ＰＰ
ケーブル・配線管	塩ビ、ＰＥ
接着剤	ポリウレタン、エポキシ樹脂
塗料・シンナー	トルエン・キシレン等
止水材・シーリング材	ポリウレタン、アクリル
防水シート（トンネル）	塩ビ、合成ゴム
コンクリート混和材	ポリカルボン酸エーテル
仮設資材（ブルーシート、土のう）	ＰＥ、ＰＰ、ＰＶＣ
断熱材	ポリウレタン、ポリスチレン

※代表的なナフサ由来の資材の一例であり、この一覧にない場合でも協議することができる。
ただし、ナフサ由来の資材であることを確認すること。

３　内容

（１）　受注者は、調達検討資材について、別途調達経費が必要となる場合には、事前に「(様式１) 調達検討資材に関する協議書」を提出し、監督職員と協議するものとする。ただし、調達検討資材を直ちに購入契約する必要がある等、迅速な対応が求められる場合には、口頭、電子メールなどで協議することも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。

なお、別途調達経費が必要となる場合とは、次のとおり想定している。

①　調達検討資材の代替資材を調達した場合
（例：塩化ビニル管を鉄管やコンクリート管に変更して施工する場合）

②　調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
（例：通常より遠方から調達する必要があり、運搬費が追加で必要な場合）

③　調達検討資材を調達した場合（ただし別途調達経費を含む）
（例：通常より調達ロットを小さくせざるを得なくなり、単価が高くなる場合）

（２）　受注者は、設計変更に際し、「(様式２）調達検討資材に関する実施報告書」及び実際の取引伝票、請求書等（調達時期、購入数量、購入単価が記載された資料）を監督職員に提出すること。

（３）　妥当性が確認された別途調達経費については、設計変更の対象とする。ただし、受注者の責めに帰すべき事由により生じた増加費用については、設計変更の対象としない。

（４）　受注者は、代替資材を調達する場合には、当該代替資材が設計図書で求める機能や品質等を満足していることが確認できる資料（カタログ等）を作成し、監督職員に提出しなければならない。

※ 様式については、契約課ホームページに掲載

4　積算方法

（1）　設計変更は、精算変更時（指定部分がある場合には、その指定部分の精算変更時）に行うことを基本とする。

（2）　設計変更を行う対象数量の考え方は、次のとおりとする。

既済部分について出来高部分払いを行っている場合は、当該既済部分払いの対象となった出来高部分に係る数量を除いた数量を設計数量とする。

証明された数量と対象数量の考え方
証明数量＜設計図書の数量 → 設計変更不可。 設計図書の数量≦証明数量≦設計数量 → 設計変更可。対象数量は証明数量 設計数量＜証明数量 → 設計変更可。対象数量は設計数量 （設計図書の数量：設計図書（数量総括表や図面等）に記載されている数量 設計数量：設計図書の数量にロスを加えた数量（積算上の数量） 証明数量：受注者から証明された数量）

※精算変更見込み数量を考慮すること。

換算値などを用いて明示した調達数量については、受発注者間で合意した換算値等や実際の使用量などを基に、受発注者間で協議して最終的な設計数量を決定すること。

（3）　設計変更に用いる単価は、実際の取引伝票、請求書等で確認出来た実際の購入価格とする。

（4）　別途調達経費は、直接工事費に計上するものとする。

材料費が個別に設定されている場合は、実際の購入価格に入れ替えて設計変更を行うこと。土木工事標準単価など材料費が分離できない場合は、調達検討資材の当初積算時点での実勢価格（物価資料等）と実際の購入価格の差分を計上して設計変更を行うこと。なお、当初積算時点の実勢価格（物価資料等）が掲載されていない場合は、受注者に当初積算時点の取引価格を確認の上、差分を算出すること。

（5）　本運用に基づく設計変更内容は、建設工事請負契約約款第 25 条（スライド条項）の対象外とする。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費	第103号 立花東線（西立花川起点東）				
道路改良		式		1	レベル1
道路土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	砂質土	m3		10	レベル4
掘削	崩土	m3		7	レベル4
路体盛土工		式		1	レベル3
路体(築堤)盛土	砂質土	m3		0.9	レベル4
法面整形工		式		1	レベル3
法面整形(切土部)	砂質土	式		1	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
土砂等運搬	砂質土	m3		10	レベル4
残土等処分	砂質土	m3		10	レベル4
土砂等運搬	粘性土	m3		7	レベル4
残土等処分	粘性土	m3		7	レベル4
石・ブロック積(張)工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘り	砂質土	式		1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
埋戻し	砂質土	式		1	レベル4
Coブロック工(Coブロック積)		式		1	レベル3
コンクリートブロック基礎	σck=18N/mm2 H=350,W=550 基礎砕石有り	m		5	レベル4
コンクリートブロック積	控え35cm 裏Co15cm σck=18N/mm2	m2		20	レベル4
胴込・裏込材(砕石)	RC-40	m3		8	レベル4
天端コンクリート	σck=18N/mm2	m		5	レベル4
調整コンクリート	σck=18N/mm2	m		5	レベル4
小口止工	H=4150,W=300 σck=18N/mm2	箇所		1	レベル4
雑工（練石積）	雑割石　控え350	m2		7	レベル4
舗装工		式		1	レベル2
アスファルト舗装工		式		1	レベル3
下層路盤	RC-40,t=15cm	m2		3	レベル4
上層路盤	RM-30,t=10cm	m2		3	レベル4
表層(車道・路肩部)	再生密粒(20),t=5cm	m2		3	レベル4
付帯工		式		1	レベル3
車線分離標	固定式,H800	本		3	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
舗装版切断	As t=50mm	式		1	レベル4
舗装版破砕	既設舗装版 As t=50mm	m2		0.6	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	As殻	m3		0.03	レベル4
殻処分	As殻	t		0.07	レベル4
＊＊直接工事費＊＊					
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

平 面 図 S=1:250

座標一覧表

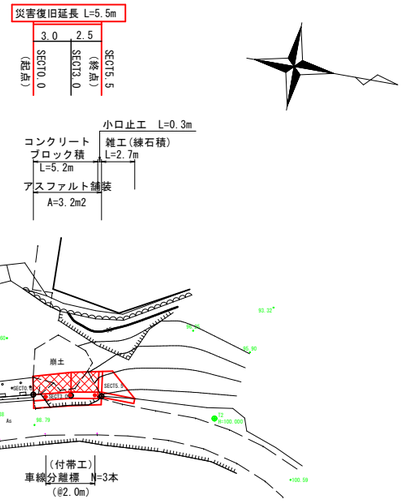
基準点成果表

点 名	X 座 標	Y 座 標	標 高
T1	981.329	1001.920	98.538
T2	1000.000	1000.000	100.000

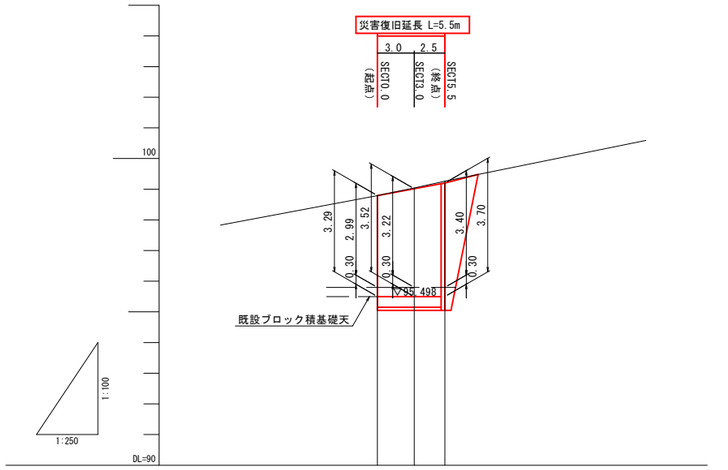
測点成果表

点 名	X 座 標	Y 座 標
SECT0.0	985.114	1000.646
SECT3.0	988.154	1000.201
SECT5.5	990.604	999.806

※ 座標値は机上による読み取りのため、
工事着手時には現地にてチェックを行うこと。

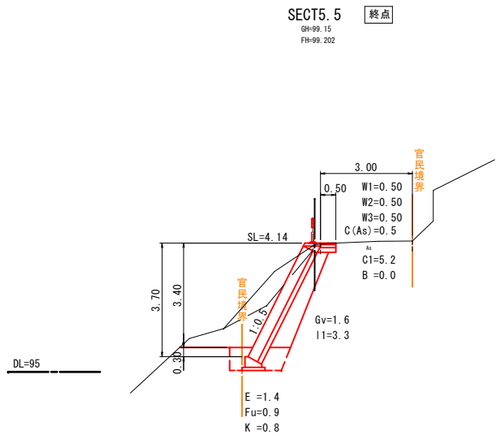


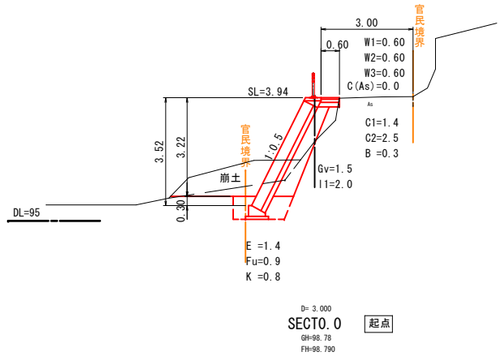
縦 断 面 図 V=1:100 H=1:250

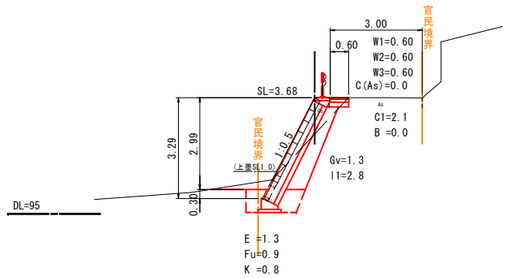


勾 配 図	I=7.491%
計 画 高	98.790 / 99.015 / 99.202
道 路 地 盤 高	98.79 / 99.04 / 99.26
追 加 距 離	0.000 / 3.000 / 5.500
区 間 距 離	0.000 / 3.000 / 2.500
測 点	SECT0.0 / SECT3.0 / SECT5.5

横 断 面 図 S=1:100







国補

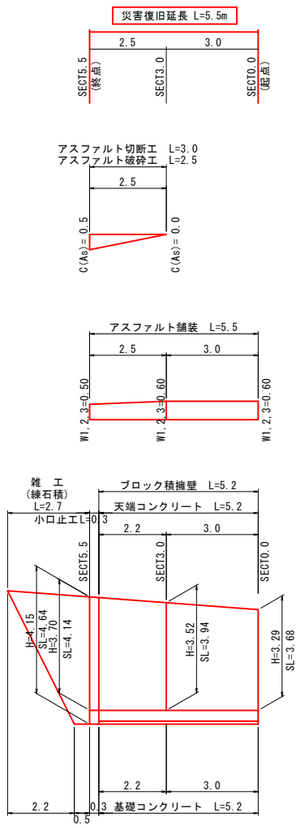
令和8年災害

工事番号	103

工事名	令和8年度 土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事 (8-5)		
図面名	立花東線(西立花川起点東)_計画図		
作成年月日			
縮尺	図 示	図面番号	1 / 2
会社名			
事業者名	東 広 島 市		

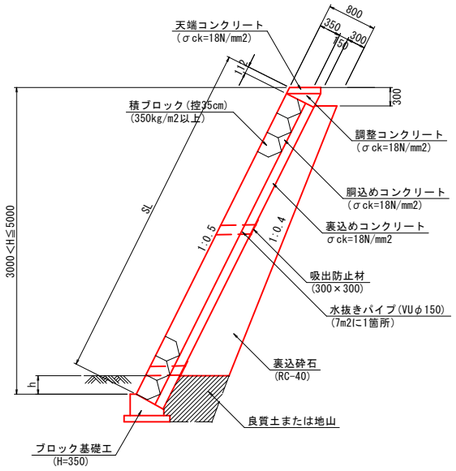
展　開　図

S=1:100



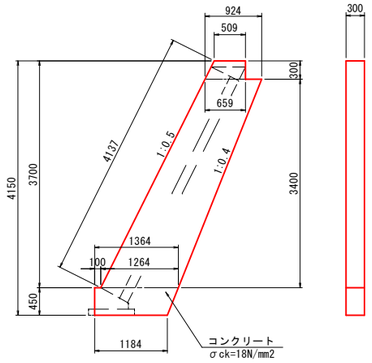
ブロック積擁壁

S=1:50



小口止工

S=1:50

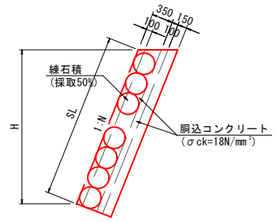


材料表　　1箇所当たり

種　別	算　式	数　量
側　面　積	(0.509+0.659)/2×0.300 +(0.924+1.264)/2×3.400 +(1.364+1.184)/2×0.450	4.468　m2
コンクリート	4.468×0.300	1.340　m3
型　　枠	4.468×2+(4.137+0.450+0.300)×0.300	10.402　m2

雑　　工

(練石積)　S=1:50

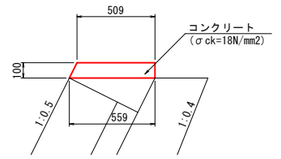


材料表　　10m2当り

種　別	数量
雑割石体積	2.110　m3
胴込コンクリート	4.250　m3

天端コンクリート

(1:0.5, t=150mm, 盛土)　S=1:20

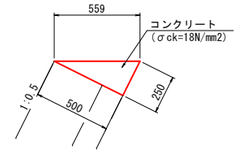


材料表（10m当たり）

種　別	規　格	単位	数　量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.534
型　　枠	一般型枠	m2	2.118

調整コンクリート

(1:0.5)　S=1:20

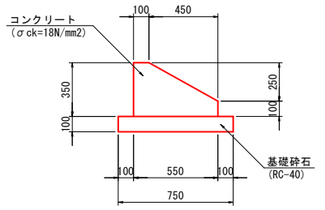


材料表（10m当たり）

種　別	規　格	単位	数　量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.625

ブロック基礎工

(H=350)　S=1:20

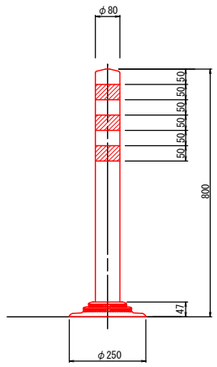


材料表（10m当たり）

種　別	規　格	単位	数　量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.363
型　　枠	一般型枠	m2	4.500
基礎砕石	RC-40, t=100mm	m2	7.500

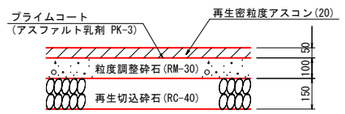
(参考図)車線分離標

(貼付式)　S=1:10



アスファルト舗装工

S=1:15



国補

令和8年 災害

工事番号	103

工事名	令和8年度　土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事（8-5）		
図面名	立花東線(西立花川起点東)_計画図		
作成年月日			
縮尺	図　示	図面番号	2 / 2
会社名			
事業者名	東　広　島　市		

参 考 図 書

工 事 名 称 ： 令和８年度 土木施設災害復旧事業

安芸津地区災害復旧工事(8-5)

＜注意事項＞

１　本工事は、数量公開の対象工事です。

２　この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

３　その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる

種　別	施設の名称	所在地	運搬距離
砂・砂質土・礫質土	リフレ安芸津事業所	東広島市安芸津町木谷243-1	2.5km
不良土（粘性土）	有限会社エス・エス大南山残土処理場	竹原市下野町字大南山1372-1	8.7 km

・当該工事により発生する建設副産物は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種　別	施設の名称	所在地	運搬距離
As 殻	株式会社中岡建設リサイクル施設	東広島市安芸津町木谷字湯盛 37-1	3.2km

総括情報表

変更回数	0
適用単価地区	51 東広島市(安芸津)
単価適用日	00-08.09.01(0)
諸経費体系	1 公共(一般)

	当世代	前世代
工種	04 道路改良工事	
施工地域・工事場所区分	04 一般交通影響有り(2)	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	09 閉所型・月単位	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 ０％	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費 第103号 立花東線（西立花川起点東）					X1000
道路改良	1	式			Y1E01　レベル1
道路土工	1	式			Y1E0101　レベル2
掘削工	1	式			Y1E010101　レベル3
掘削 砂質土	10	m3			Y1E01010101レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	10	m3			SPK26040001 00 単第0 -0001　表
掘削 崩土	7	m3			Y1E01010101レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	7	m3			SPK26040001 00 単第0 -0001　表
路体盛土工	1	式			Y1E010103　レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路体(築堤)盛土 砂質土	0.9	m3			Y1E01010301レベル4
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m未満	0.9	m3			SPK26040004 00 単第0 -0002　表
法面整形工	1	式			Y1E010107　レベル3
法面整形(切土部) 砂質土	1	式			Y1E01010701レベル4
法面整形 切土部　現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	10	m2			SPK26040024 00 単第0 -0003　表
残土処理工	1	式			Y1E010110　レベル3
土砂等運搬 砂質土	10	m3			Y1E01011002レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し　距離2.5km以下(1.5km超)	10	m3			SPK26040002 00 単第0 -0004　表
残土等処分 砂質土	10	m3			Y1E01011003レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 建設発生土（砂質土） リフレ安芸津事務所	10	m3			F000000100　00
土砂等運搬 粘性土	7	m3			Y1E01011002レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し　距離9.0km以下(7.0km超)	7	m3			SPK26040002 00 単第0 -0005　表
残土等処分 粘性土	7	m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 建設発生土（粘性土） (有)エス・エス大南山残土処理場	7	m3			F000000200　00
石・ブロック積(張)工	1	式			Y1E0107　　レベル2
作業土工	1	式			Y1E010701　レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
床掘り 砂質土	1	式			Y1E01070102レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	8	m3			SPK26040014 00 単第0 -0006 表
埋戻し 砂質土	1	式			Y1E01070103レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	5	m3			SPK26040019 00 単第0 -0007 表
Coブロック工(Coブロック積)	1	式			Y1E010703 レベル3
コンクリートブロック基礎 σck=18N/mm2 H=350,W=550 基礎砕石有り	5	m			Y1E01070301レベル4
基礎コンクリート 18-8-40BB	5	m			V000000100 00 単第0 -0008 表
コンクリートブロック積 控え35cm 裏Co15cm σck=18N/mm2	20	m2			Y1E01070305レベル4
コンクリートブロック積工（練積） 滑面ブロック 18-8-40BB	20	m2			SDT00039 00 単第0 -0010 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
胴込・裏込材(砕石) RC-40	8	m3			Y1E01070308レベル4
胴込・裏込材(砕石) 間知・平・連節・緑化ブロック RC-40	8	m3			SPK26040045 00 単第0 -0011 表
天端コンクリート σck=18N/mm2	5	m			Y4999 レベル4
天端コンクリート 18-8-40BB	5	m			V000000200 00 単第0 -0012 表
調整コンクリート σck=18N/mm2	5	m			Y4999 レベル4
調整コンクリート 18-8-40BB	5	m			V000000300 00 単第0 -0014 表
小口止工 H=4150,W=300 σck=18N/mm2	1	箇所			Y4999 レベル4
小口止工 H=4150,W=300 18-8-40BB	1	箇所			V000000500 00 単第0 -0016 表
雑工（練石積） 雑割石　控え350	7	m2			Y4999 レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
練石積 控え t=350	7	m2			V000000400 00 単第0 -0018 表
舗装工	1	式			Y2999 レベル2
アスファルト舗装工	1	式			Y3999 レベル3
下層路盤 RC-40,t=15cm	3	m2			Y4999 レベル4
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚150mm 1層施工 RC-40	3	m2			SPK26040233 00 単第0 -0021 表
上層路盤 RM-30,t=10cm	3	m2			Y4999 レベル4
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RM-30	3	m2			SPK26040235 00 単第0 -0022 表
表層(車道・路肩部) 再生密粒(20),t=5cm	3	m2			Y4999 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	3	m2			SPK26040241 00 単第0 -0023 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
付帯工	1	式			Y1A011202　レベル3
車線分離標 固定式,H800	3	本			Y1A01120203レベル4
車線分離標(固定式)(貼付式) 設置 高さ_800mm [規]10本未満	3	本			SS000095　00 単第0 -0024　表
構造物撤去工	1	式			Y1E0112　レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206　レベル3
舗装版切断 As t=50mm	1	式			Y1E01120602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	3	m			SPK26040304 00 単第0 -0025　表
舗装版破砕 既設舗装版 As t=50mm	0.6	m2			Y1E01120603レベル4
舗装版破砕積込(小規模土工)	0.6	m2			SPK26040017 00 単第0 -0026　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬処理工	1	式			Y1E011216　レベル3
殻運搬 As殻	0.03	m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間無し 運搬距離3.5km以下(3.0km超)	0.03	m3			SPK26040155 00 単第0 -0027　表
殻処分 As殻	0.07	t			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 As殻処分費 （株）中岡建設リサイクル施設	0.07	t			F000000300　00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					 当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

施工単価表

掘削　　SPK26040001　　単第0 -0001　表

土砂 上記以外(小規模)　　標準以外　　1　　m3　　当り

機械構成比:　21.20%　　労務構成比:　70.89%　　材料構成比:　7.91%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　2,870.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3	21.20%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3		MTPC00184 MTPT00184
運転手(特殊)	70.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=8　標準以外			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

路体(築堤)盛土　　SPK26040004　　単第0 -0002　表

施工幅員2.5m未満　　1　m3　当り

機械構成比: 0.63%　労務構成比: 99.14%　材料構成比: 0.23%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 7,091.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8～1.1t	0.63%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.8～1.1t		KTPC00008 KTPT00008
普通作業員	90.71%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.43%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.23%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　施工幅員2.5m未満					

施工単価表

法面整形　　SPK26040024　　単第0 -0003　表

切土部　現場制約無し　　レキ質土,砂及び砂質土,粘性土　　1　m2　当り

機械構成比: 8.80%　労務構成比: 81.51%　材料構成比: 9.69%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 964.64000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	8.80%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	38.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	22.44%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	20.15%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　切土部 D=2　レキ質土,砂及び砂質土,粘性土			C=2　現場制約無し E=1　-(全ての費用)		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK26040002　　単第0 -0004　表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　　DID区間無し　距離2.5km以下(1.5km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　19.09%　　労務構成比:　72.09%　　材料構成比:　8.82%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　2,466.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 通称2t積級	19.09%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.82%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=12　距離2.5km以下(1.5km超)			B=6　バックホウ B容量0.13m3 D=1　DID区間無し		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK26040002　　単第0 -0005　表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　　DID区間無し　距離9.0km以下(7.0km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　19.09%　　労務構成比:　72.09%　　材料構成比:　8.82%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　5,285.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 通称2t積級	19.09%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.82%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=37　距離9.0km以下(7.0km超)			B=6　バックホウ B容量0.13m3 D=1　DID区間無し		

施工単価表

床掘り　　SPK26040014　　単第0 -0006　表

土砂 上記以外(小規模)　　1　m3　当り

機械構成比: 19.50%　労務構成比: 73.36%　材料構成比: 7.14%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,397.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3	19.50%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3		MTPC00189 MTPT00189
運転手(特殊)	39.84%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=1　-(全ての費用)			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し　　SPK26040019　　単第0 -0007　表

土砂　　上記以外(小規模)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　9.23%　労務構成比:　86.75%　材料構成比:　4.02%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　4,309.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3	8.67%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排3 バケット容量0.28m3		MTPC00189 MTPT00189
タンパ及びランマ ランマ 通称60～80kg級	0.56%		ランマ 通称質量60～80kg級		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.17%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5　上記以外(小規模) D=1　-(全ての費用)			B=1　土砂		

施工単価表

埋戻し　　SPK26040019　　単第0 -0007　表

土砂　　上記以外(小規模)　　1　　m3　　当り

機械構成比: 9.23%　労務構成比: 86.75%　材料構成比: 4.02%　市場単価構成比: 0.00%　　標準単価： 4,309.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考

施工単価表

基礎コンクリート　　V000000100　　単第0 -0008　表

18-8-40BB　　10　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
現場打基礎コンクリート 18-8-40BB 基礎砕石有り	1.363	m3			単第0-0009　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

現場打基礎コンクリート　　SPK26040049　　単第0 -0009　表

18-8-40BB　　基礎砕石有り　　1　　m3　　当り

機械構成比:　1.99%　　労務構成比:　68.06%　　材料構成比:　29.95%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　85,843.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.40%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.8m3 吊能力2.9t		KTPC00006 KTPT00006
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	0.59%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	18.84%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
型わく工	18.09%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
特殊作業員	10.23%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	25.86%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.45%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

現場打基礎コンクリート　　SPK26040049　　単第0 -0009　表

18-8-40BB　　基礎砕石有り　　1　　m3　　当り

機械構成比:　1.99%　労務構成比:　68.06%　材料構成比:　29.95%　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価：　85,843.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2　18-8-40BB D=1　一般養生・特殊養生(練炭)			C=1　基礎砕石有り E=2　小型車割増有		

施工単価表

コンクリートブロック積工（練積） SDT00039 単第0 -0010 表

滑面ブロック 18-8-40BB 1 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_ブロック積工【手間のみ】 時間的制約なし	1.000	m2			
コンクリート積みブロック-滑面-<JISA5371> 280×420×350,参考質量41.2kg以上 8.5個/m2	8.500	個			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.168	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	0.168	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1 昼間施工 C=1 18-8-40BB F=1 18-8-40BB			B=1 - E=2 小型車割増有 H=0.15 裏込コンクリートの厚さ(m)		
I=1 滑面ブロック L=1 時間的制約なし			K=8.5 ブロックm2当り使用量(個/m2)		

施工単価表

コンクリートブロック積工（練積） SDT00039 単第0 -0010 表

滑面ブロック 18-8-40BB 1 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考

施工単価表

胴込・裏込材(砕石)　　SPK26040045　　単第0 -0011　表

間知・平・連節・緑化ブロック　　RC-40　　1　m3　当り

機械構成比: 8.99%　労務構成比: 68.98%　材料構成比: 22.03%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 7,441.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	8.99%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.8m3 吊能力2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	36.04%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	20.09%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	12.29%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 40～0mm	17.76%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	4.27%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　間知・平・連節・緑化ブロック			B=1　RC-40		

施工単価表

胴込・裏込材(砕石)　　SPK26040045　　単第0 -0011　表

間知・平・連節・緑化ブロック　　RC-40　　1　　m3　　当り

機械構成比:　8.99%　労務構成比:　68.98%　材料構成比:　22.03%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　7,441.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考

施工単価表

天端コンクリート　　V000000200　　単第0 -0012　表

18-8-40BB　　10　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
現場打天端コンクリート 18-8-40BB 一般養生	0.534	m3			単第0-0013　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

現場打天端コンクリート　　SPK26040052　　単第0 -0013　表

18-8-40BB　　一般養生　　1　m3　当り

機械構成比: 2.31%　労務構成比: 64.12%　材料構成比: 33.57%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 69,240.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	2.31%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.8m3 吊能力2.9t		KTPC00006 KTPT00006
型わく工	22.02%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	15.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	32.06%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.51%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

施工単価表

現場打天端コンクリート　　SPK26040052　　単第0 -0013　表

18-8-40BB　　一般養生　　1　m3　当り

機械構成比: 2.31%　労務構成比: 64.12%　材料構成比: 33.57%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 69,240.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
A=2 18-8-40BB D=2 小型車割増有			C=1 一般養生		

施工単価表

調整コンクリート　　V000000300　　単第0 -0014　表

18-8-40BB　　10　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.625	m3			単第0-0015　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0015　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB　　人力打設　　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 28.77%　材料構成比: 71.23%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 32,152.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	71.23%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

小口止工　　V000000500　　単第0 -0016　表

H=4150,W=300　　18-8-40BB　　1　　箇所　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
現場打小口止コンクリート 18-8-40BB 一般養生	1.340	m3			単第0-0017　表
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

現場打小口止コンクリート　　SPK26040050　　単第0 -0017　表

18-8-40BB　　一般養生　　1　m3　当り

機械構成比: 1.74%　労務構成比: 68.26%　材料構成比: 30.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 76,553.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.74%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.8m3 吊能力2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	21.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
型わく工	21.53%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
土木一般世話役	10.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	5.85%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	29.00%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.00%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

施工単価表

現場打小口止コンクリート　　SPK26040050　　単第0 -0017　表

18-8-40BB　　一般養生　　1　m3　当り

機械構成比:　1.74%　労務構成比:　68.26%　材料構成比:　30.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　76,553.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
A=2　18-8-40BB D=2　小型車割増有			C=1　一般養生		

施工単価表

練石積　　V000000400　　単第0 -0018　表

控え t=350　　10　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
石積(張) 積工 練石 雑割石	10	m2			単第0-0019　表
胴込・裏込コンクリート_石積(張) 積工 18-8-40BB	4.25	m3			単第0-0020　表
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

石積(張)　　SPK26040063　　単第0 -0019　表

積工　　練石 雑割石　　1　　m2　　当り

機械構成比:　5.73%　労務構成比:　91.31%　材料構成比:　2.96%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　14,825.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	5.73%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.28m3 吊能力1.7t		KTPC00019 KTPT00019
普通作業員	48.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	22.63%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
石工	15.48%		石工		RTPC00017 RTPT00017
土木一般世話役	4.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.96%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　積工 C=2　雑割石			B=1　練石		

施工単価表

胴込・裏込コンクリート_石積(張)　SPK26040065　単第0 -0020　表

積工　18-8-40BB　1　m3　当り

機械構成比: 1.74%　労務構成比: 29.26%　材料構成比: 69.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 35,360.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.74%		バックホウ(クローラ型) クレーン機能付 バケット容量0.28m3 吊能力1.7t		KTPC00019 KTPT00019
普通作業員	11.36%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.14%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	6.90%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	68.10%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999
A=1　積工 D=2　小型車割増有			B=2　18-8-40BB		

施工単価表

胴込・裏込コンクリート_石積(張)　SPK26040065　単第0 -0020　表

積工　18-8-40BB　1　m3　当り

機械構成比: 1.74%　労務構成比: 29.26%　材料構成比: 69.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 35,360.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考

施工単価表

下層路盤(歩道部)　SPK26040233　単第0 -0021　表

全仕上り厚150㎜ 1層施工　RC-40　1　m2　当り

機械構成比: 4.82%　労務構成比: 76.32%　材料構成比: 18.86%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 889.38000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 バケット容量0.09m3	2.88%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 バケット容量0.09m3		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第2,3次基準値)低騒音	1.71%		振動ローラ(舗装用) 搭乗・コンバインド式 運転質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	27.48%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	16.13%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 40～0㎜	16.70%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100㎜		TTPC00008 TTPT00352

施工単価表

下層路盤(歩道部)　SPK26040233　単第0 -0021　表

全仕上り厚150㎜ 1層施工　RC-40　1　m2　当り

機械構成比: 4.82%　労務構成比: 76.32%　材料構成比: 18.86%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 889.38000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.06%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=150　全仕上り厚(㎜) D=1　-(全ての費用)			B=4　RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(㎜)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(㎜):150.000(㎜)					

施工単価表

上層路盤(歩道部)　　SPK26040235　　単第0 -0022　表

全仕上り厚100㎜ 1層施工　　RM-30　　1　　m2　　当り

機械構成比: 4.48%　労務構成比: 70.96%　材料構成比: 24.56%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 956.69000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 バケット容量0.09m3	2.68%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 バケット容量0.09m3		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第2,3次基準値)低騒音	1.59%		振動ローラ(舗装用) 搭乗・コンバインド式 運転質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	25.56%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	15.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.84%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整砕石 30～0㎜	22.56%		再生粒度調整砕石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100㎜		TTPC00010 TTPT00360

施工単価表

上層路盤(歩道部)　　SPK26040235　　単第0 -0022　表

全仕上り厚100mm 1層施工　　RM-30　　1　　m2　　当り

機械構成比:　4.48%　　労務構成比:　70.96%　　材料構成比:　24.56%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　956.69000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100　全仕上り厚(mm) D=1　-(全ての費用)			B=1　RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK26040241　単第0 -0023　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.42%　労務構成比: 44.56%　材料構成比: 55.02%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 3,034.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.23%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 通称40～60kg級	0.13%		振動コンパクタ 前進型 通称40～60kg級		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.70%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.12%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.27%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	50.19%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.60%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK26040241　単第0 -0023　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.42%　労務構成比: 44.56%　材料構成比: 55.02%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 3,034.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=2 小型車割増有 I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

車線分離標(固定式)(貼付式)　SS000095　単第0 -0024　表

設置 高さ_800㎜ [規]10本未満　1　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
車線分離標設置(ラバーポール)【材工共】 固定式(貼付式) 本体径φ80㎜高さ800㎜	1.000	本			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			
A=1　設置 C=3　[規]10本未満 F=1　-			B=3　高さ_800㎜ E=1　-		

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0025　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 14.40%　労務構成比: 58.90%　材料構成比: 26.70%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)･湿式･E駆動 通称(切削深)20cm級ブレード径φ56cm	9.80%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式・E駆動 通称(切削深)20cm級 ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	9.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.47%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.88%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0025　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 14.40%　労務構成比: 58.90%　材料構成比: 26.70%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

舗装版破砕積込(小規模土工)　　SPK26040017　　単第0 -0026　表

1　　m2　　当り

機械構成比:　21.20%　労務構成比:　70.89%　材料構成比:　7.91%　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,871.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3	21.20%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3		MTPC00184 MTPT00184
運転手(特殊)	70.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　　-(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0027　表

舗装版破砕　　DID区間無し　運搬距離3.5km以下(3.0km超)　　1　m3　当り

機械構成比:　19.09%　労務構成比:　72.09%　材料構成比:　8.82%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　4,122.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 通称2t積級	19.09%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.82%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=1　DID区間無し E=1　-(全ての費用)			B=4　機械積込(小規模土工) D=17　運搬距離3.5km以下(3.0km超)		

令和8年災害　東広島市公共災害

バックホウ0.13m3

ダンプトラック2t積

工　事　費　内　訳

103_立花東線(西立花川起点東)

費　目	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	計上数量	数　量	摘　要
本工事費	**道路土工**							
		掘削工	掘削	砂質土	m3	10	13.6	
				崩土	m3	7	6.9	
		盛土工	盛土	砂質土	m3	0.9	0.9	W＜2.5m
		法面整形工	法面整形(切土部)	機械，砂質土	m2	10	13.8	(構造物背面部)
		残土処理工	残土処理	砂質土	m3	10	14.6	
				不良土(粘性土)	m3	7	6.9	
	石・ブロック積工							
		作業土工	床掘	砂質土	m3	8	7.6	
			埋戻	D	m3	5	5.0	
			基面整正	砂質土	m2	4	4.4	
		コンクリート ブロック積工	間知ブロック	控0.35m 裏コン15cm	m2	20	19.7	
			天端コンクリート	σck=18N/mm2 1:0.5	m	5	5.2	V=0.534 (m3/10m)
			調整コンクリート	σck=18N/mm2 1:0.5	m	5	5.2	V=0.625 (m3/10m)
			裏込材	RC-40	m3	8	7.6	

費　目	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	計上数量	数　量	摘　要
			現場打基礎	σck=18N/mm2 W=550,H=350	m	5	5.2	V=1.363 (m3/10m)
		小口止工	小口止工	B300,H=4150	箇所	1	1.0	V=1.340(m3)
		雑　工	練石積	控え35cm	m2	7	7.4	
			雑割石体積	φ350内外	m3	2	1.6	V=2.110 (m3/10m2)
			胴込コンクリート	σck=18N/mm2	m3	3	3.1	V=4.250 (m3/10m2)
	舗装工							
		舗装工	下層路盤	t=15cm	m2	3	3.2	
			上層路盤	t=10cm	m2	3	3.2	
			表層工	t=5cm	m2	3	3.2	
		付帯工	車線分離標	H=800mm	本	3	3.0	
	構造物撤去工							
		舗装版切断工	t=15cm以下	アスファルト	m	3	3.0	
		舗装版破砕工	t=15cm以下	アスファルト	m2	0.6	0.6	
		運搬処理	殻運搬	As殻	m3	0.03	0.03	0.6×0.05
			処分	As殻	t	0.07	0.07	0.03×2.35t/m3

103_立花東線(西立花川起点東)

土量配分表

掘　削　土			
掘削C1	砂質土	13.6	m3
床　掘	〃	7.6	m3
計	砂質土	21.2	m3

掘　削　土			
掘削C2	崩土	6.9	m3
計		6.9	m3

残　土　処　分			
計	砂質土	14.6	m3
	不良土	6.9	m3

14.6　m3

0.9　／ 0.9　＝ 1.0　m3

土量変化率　0.9

盛　　土			
盛土B	W＜2.5m	0.9	m3
合計		0.9	m3

道路

5.0　／ 0.9　＝ 5.6　m3

土量変化率　0.9

埋　戻　土			
埋　戻	区分D	5.0	m3
計	砂質土	5.0	m3

103_立花東線(西立花川起点東)

道 路 土 工　　計 算 書

測 点	距 離	機械掘削 C1			機械掘削 C2			盛土B			切土法面整形 l1			摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		2.1			0.0			0.0			2.8			(構造物背面部)
SECT, 3.0	3.0	1.4	1.75	5.3	2.5	1.25	3.8	0.3	0.15	0.5	2.0	2.40	7.2	
SECT, 5.5	2.5	5.2	3.30	8.3	0.0	1.25	3.1	0.0	0.15	0.4	3.3	2.65	6.6	
合 計	5.5			13.6			6.9			0.9			13.8	

103_立花東線(西立花川起点東)

作 業 土 工　　計 算 書

測 点	距 離	床掘E			埋戻Fu			基面整正K						摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		1.3			0.9			0.8						
SECT, 3.0	3.0	1.4	1.35	4.1	0.9	0.90	2.7	0.8	0.80	2.4				
SECT, 5.5	2.5	1.4	1.40	3.5	0.9	0.90	2.3	0.8	0.80	2.0				
合 計	5.5			7.6			5.0			4.4				

103_立花東線(西立花川起点東)

ブロック積工　　計算書

測点	距離	ブロック法長(SL)			裏込砕石(Gv)									摘要
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量	
SECT, 0.0		3.68			1.3									
SECT, 3.0	3.0	3.94	3.81	11.4	1.5	1.40	4.2							
SECT, 5.2	2.2	4.14	4.04	8.9	1.6	1.55	3.4							
天端コン控除	(1.118×0.100×5.2)=			-0.6										
合計	5.2			19.7			7.6							

103_立花東線(西立花川起点東)

天端コンクリート

種　別	細　別	計　算　式	数　量	摘　要
天端コンクリート	1:0.5	3.0　＋　2.2	5.2　m	0.534 m3/10m
			5.2×0.534/10=0.3	0.3 m3
調整コンクリート	1:0.5	3.0　＋　2.2	5.2　m	0.625 m3/10m
			5.2×0.625/10=0.3	0.3 m3

103_立花東線(西立花川起点東)

ブロック基礎工

種　別	細　別	計　算　式	数　量	摘　要
ブロック基礎	W=550,H=350	3.0　＋　2.2	5.2　m	V=1.363(m3/10m)
			5.2×1.363/10=0.7	0.7 m3

103_立花東線(西立花川起点東)

小 口 止 工

種　別	細　別	計　算　式	数　量	摘　要
小口止工	H=4.15	1	1　ヶ所	1.340m3
合　計			1　ヶ所	1.340m3

103_立花東線(西立花川起点東)

雑　工　　計 算 書

測　点	距 離	練石積												摘　要
		断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	
SECT,　5.5		4.64												
	0.5	4.64	4.64	2.3										
	2.2	0.00	2.32	5.1										
合　計	2.7			m2 7.4										

103_立花東線(西立花川起点東)

舗　装　工　　計 算 書

測　点	距 離	下層路盤(t=15cm)			上層路盤(t=10cm)			表層工(t=5cm)						摘　要
		断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	断　面	平　均	数　量	
SECT,　0.0		0.60			0.60			0.60						
SECT,　3.0	3.0	0.60	0.60	1.8	0.60	0.60	1.8	0.60	0.60	1.8				
SECT,　5.5	2.5	0.50	0.55	1.4	0.50	0.55	1.4	0.50	0.55	1.4				
合　計	5.5			3.2			3.2			3.2				

103_立花東線(西立花川起点東)

付 帯 工

種　別	細　別	計　算　式	数　量	摘　要
車線分離標	H=800mm	(5.5 － 1.0) ／ 2.0m	2.3 本	
合　計			3 本	

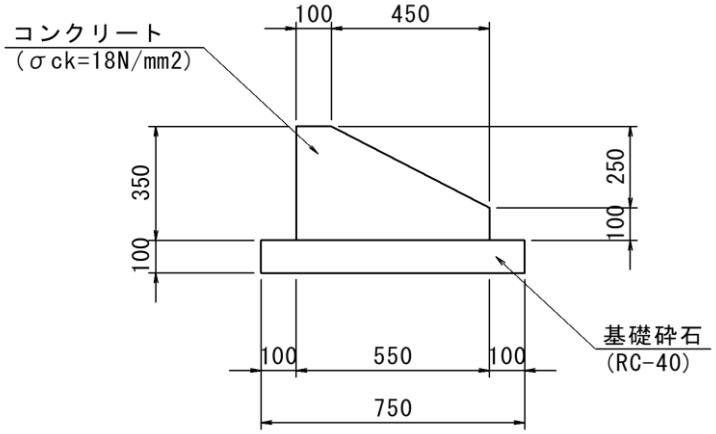
103_立花東線(西立花川起点東)

構造物取壊工　　計 算 書

測 点	距 離	舗装版切断工			舗装版破砕工C(As)									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0														
SECT, 3.0	3.0				0.0									
SECT, 5.5	2.5			2.5	0.5	0.25	0.6							
				0.5										
合 計	5.5			m 3.0			m2 0.6							

計第　－　表	ブロック基礎	10m当り

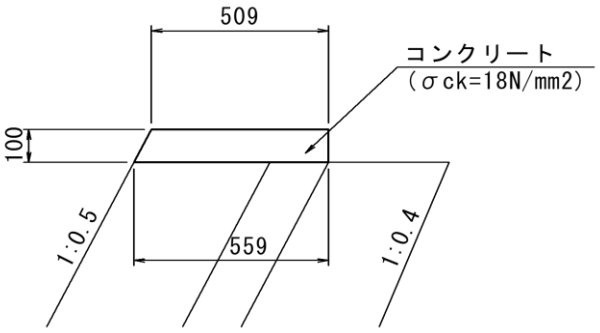
(H=350)



種 別	規 格	計　　算　　式	数 量	
コンクリート	σck=18N/mm2	(0.350×0.550-1/2×0.250×0.450)×10.00	1.363	m3
型　　枠	一般型枠	(0.350+0.100)×10.00	4.500	m2
基 礎 材	RC-40 t=10cm	0.750×10.00	7.500	m2

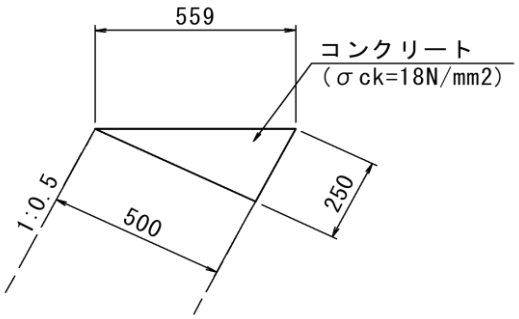
計第　－　表	天端コンクリート	10m当り

(1:0.5,t=150mm,盛土)



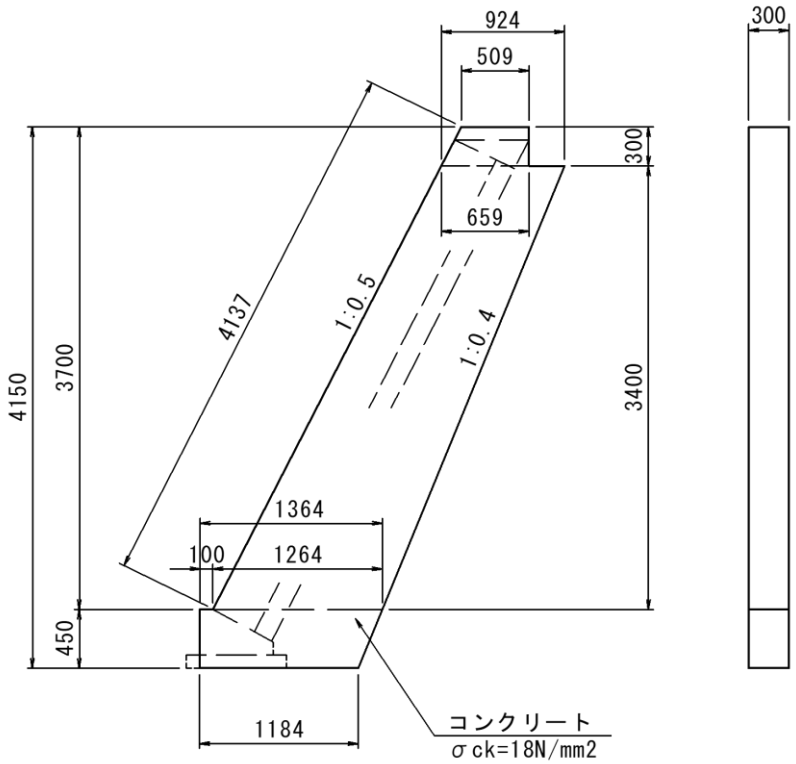
種 別	規 格	計　　算　　式	数 量	
コンクリート	σck=18N/mm2	1/2×(0.509+0.559)×0.100×10.00	0.534	m3
型　　枠	一般型枠	(0.100×1.118+0.100)×10.00	2.118	m2

計第　－　表	調整コンクリート	10m当り



種 別	規 格	計　　算　　式	数 量
コンクリート	σck=18N/mm2	1/2×0.500×0.250×10.00	0.625 m3

計第　－　表	小口止工	1箇所当り



(0.509+0.659)/2×0.300+(0.924+1.264)/2×3.400+(1.364+1.184)/2×0.450=　4.468　m2

種別	規格	計算式	数量	
コンクリート	σck=18N/mm2	4.468×0.300	1.340	m3
型　枠	無筋	4.468×2+(4.137+0.450+0.300)×0.300	10.402	m2